

氏名	林 伸 旨
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1546 号
学位授与の日付	昭和60年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	Rapid and Simultaneous Measurement of Estrone, Estradiol, Estriol and Estetrol in Serum by High Performance Liquid Chromatography with Electrochemical Detection 高速液体クロマトグラフィーと電気化学検出法の組み合わせによる血清中エストロン，エストラダイオール，エストリオール，エステトロール迅速同時測定法
論文審査委員	教授 産賀敏彦 教授 佐伯清美 教授 太田善介

学位論文内容の要旨

前処理操作を加えた血清サンプルを，高速液体クロマトグラフィーに応用して estrone, estradiol, estriol, estetrol を分離溶出させ，電気化学検出法（設定加電圧 + 1.0vs.Ag/AgCl）にて一斉分析する測定法を開発した。

本測定法と RIA による測定値の比較では，estrone : $\gamma = 0.759$, $P < 0.01$, estradiol : $\gamma = 0.816$, $P < 0.001$, estriol : $\gamma = 0.830$, $P < 0.001$ と有意の相関が認められた。

妊娠38週の正常妊娠例と無脳児妊娠例の妊婦血清の比較では，症例間の対応するエストロゲン分画測定値の比較のみならず，各症例のエストロジェンのプロフィール分析によっても正常例と無脳児例の相違は明らかであった。

本測定法は，血清中エストロゲン4分画の一斉分析が，随時，約2時間で，およそ 500pg/ml の定量限界まで可能であり，胎児胎盤機能評価や病態解析に極めて有用と考えられる。

なお，本論文は共著論文であり，共著者の協力を得て完成したものである。

論文審査の結果の要旨

本研究は女性ホルモンの定量法に関する基礎的研究およびその臨床的応用に関する研究であるが、エストロゲンの迅速鋭敏な分離定量法を開発し、産科領域に有用であることを確立した価値ある業績であると認める。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。